学校番号	3005

令和８年度　工業科（建築科）

教科	工業	科目	住環境技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たち人間が建築物の中で便利・快適に暮らすためにはどのような環境を整えるべきなのか、また自然環境とどう共存していくべきなのか、興味・関心を持ちながら授業を受けてください。
2 年次までに学習した教材の内容や建築計画・建築法規で学んだ内容を、より深く学習し、実際に形にすることで理解を深めます。
CAD や BIM は建築技術者にとって必要不可欠なので、意欲を持って取り組んでください。

2　学習の到達目標

・建築物が環境に与える影響を理解し、住環境に関するより深い知識・技術を身につける。
・環境に配慮した建築を計画する能力を身につけ、思考・判断できる。
・プレゼンテーション能力を身につけるために、CAD や模型、BIM 等を用いて視覚的に表現・検討し、主体的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これからの環境問題に対して建築物で行える工夫について知識を習得した上で、自然環境との共存や持続可能な社会における建築物の課題について理解している。 BIM や ICT の積極的な活用を図り、プレゼンテーションの技能を習得している。	建築環境によって起こる現象のしくみについて思考し、それに対する振り返りや自分の意見などをレポートや小テスト等で的確に表現している。 プレゼンテーションに関する諸課題の解決をめざして、基礎的・基本的な知識と技術をもとに自ら考え、適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	建築に関する環境分野の技術や政策の最新動向に関心を持ち、基礎的な知識の習得に意欲をもって取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。 プレゼンテーションの基礎的な技術の習得と実習に意欲をもって取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	建築環境	・温熱環境 ・光環境 ・日照環境 ・音環境 ・自然エネルギー	a:建築計画に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割が理解できている。 b:授業内容の事例を吟味し、演習問題や調べ学習を参照して正誤判断・指摘ができる。 c:ノートやプリントに必要な知識を書き込み、授業に意欲的に取り組んでいる。	学習プリント 提出物 小テスト	学習プリント 提出物 小テスト	学習状況の観察 提出物
後期	プレゼンテーション	・既存建築物調べ ・既存建築物についてプレゼンテーション ・BIMによる設計 ・設計作品についてプレゼンテーション	a:BIMやプレゼンテーションの基本的な知識や技術を身につけている。 b:設計作品を適切に作成、またプレゼンテーション用資料の視覚的情報を効率よく作成している。 c:BIMやプレゼンテーションに興味関心を持ち各課題に意欲的に取り組む。	学習状況の観察 課題作品	学習状況の観察 課題作品	学習状況の観察 課題作品

※表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度